

十勝港の産直港湾認定等について

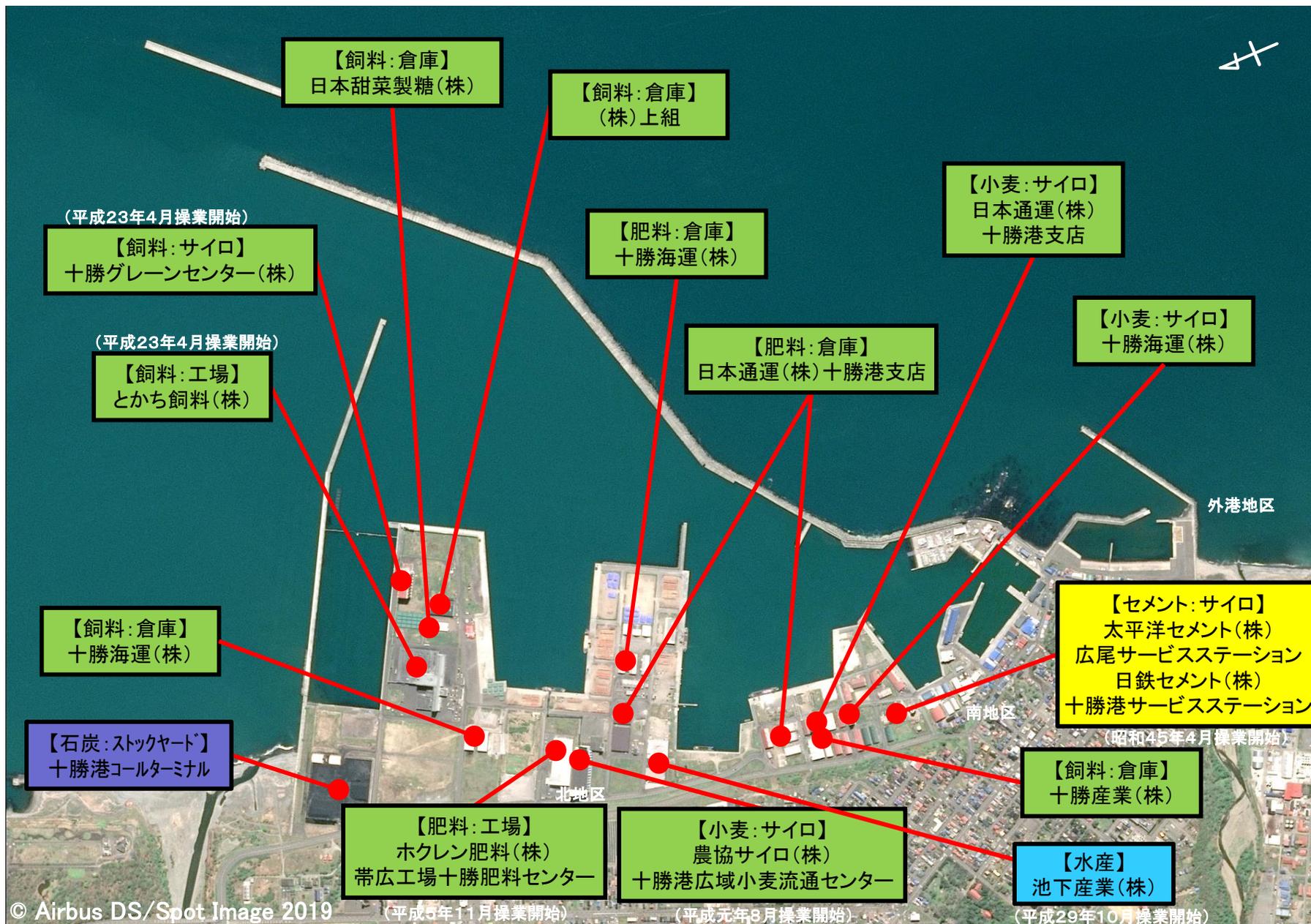
～十勝港の現状と期待～

令和7年5月26日（月）
北海道開発局 釧路開発建設部

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画



十勝港の全景と主な立地企業



© Airbus DS/Spot Image 2019

(平成5年11月操業開始)

(平成元年8月操業開始)

(平成29年10月操業開始)

凡例: エネルギー 製造(工業品) 農業関連 製造(食品)

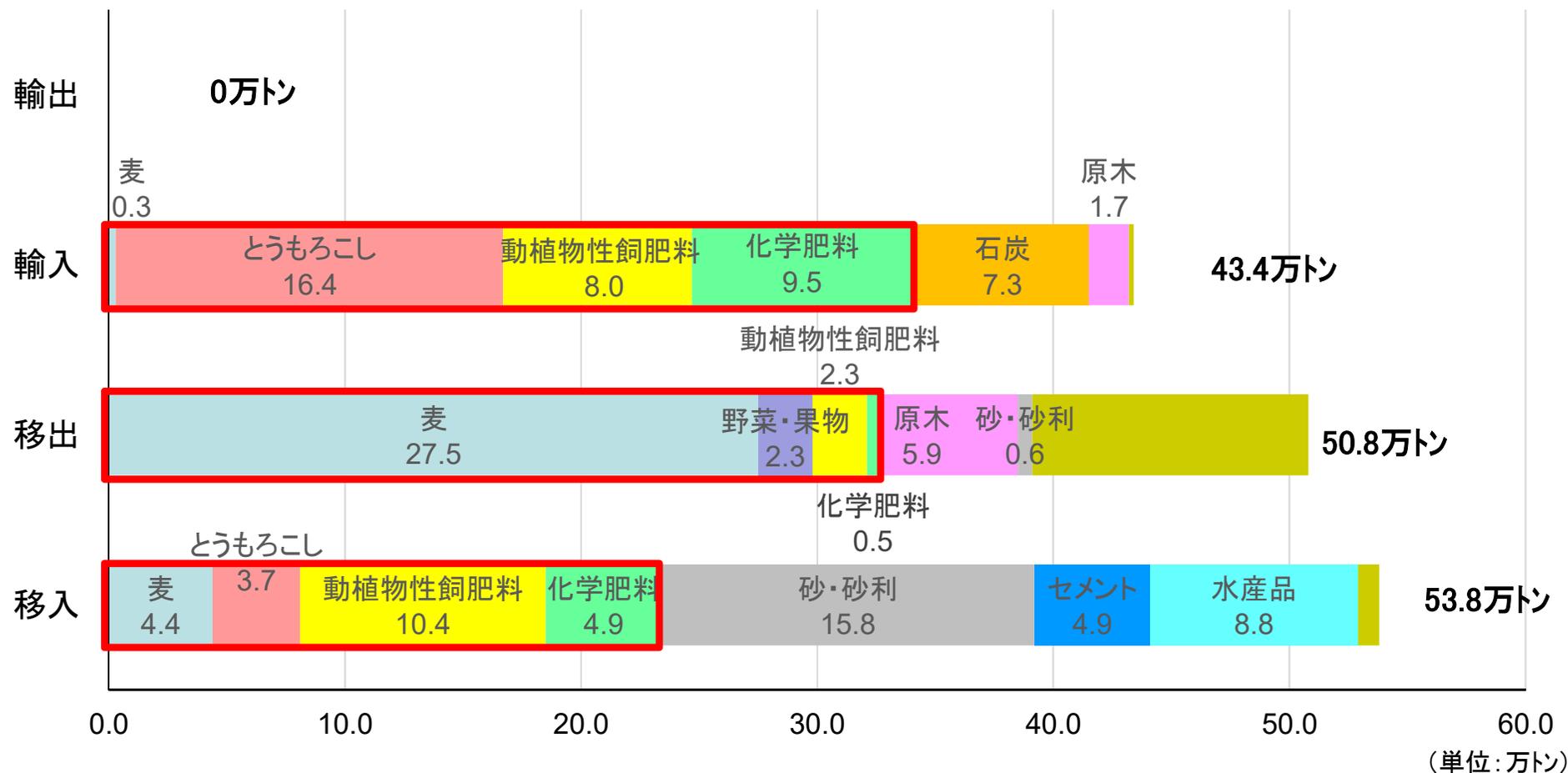
十勝港の取扱貨物量

●2023年(令和5年)取扱貨物量

148.0万トン(外貿43.4万トン、内貿104.6万トン)

農業関連品目 6割以上(下記の赤囲い:90.2万トン)

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合ある。



貿易額は、14年連続100億を越える(令和6年:167億円)

出典: 広尾町調べ

十勝港の位置 (地理的優位性)

- ◆十勝港は、
 - ・十勝地域と港を結ぶ陸路の最短距離に位置。

十勝地方から一番近い港



○十勝港を利用した場合、1日2往復のトラック輸送が可能であるが、他港を利用した場合、1日1往復までが限界となり、「モノが運べなくなる」可能性がある。
(1日の輸送範囲は片道4.5時間で試算)

○距離制運賃表(北海道運輸局調べ)では、

トレーラー(20ト)利用時の標準的な運賃は、十勝港を利用した方が約3.5万円ほど安価。

・帯広市～苫小牧港	77,070円
(約180Km)	
・帯広市～十勝港	45,800円
(約80Km)	

十勝港のトピックス① (定期航路の開設)

- ◆物流の「2024年問題」等の社会情勢変化への対応として十勝港の有効活用が期待される中、2024年5月、十勝地域と首都圏を結ぶ、コンテナ船の**新しい定期航路が就航**。
- ◆コンテナ船就航後、京浜港(横浜)を經由して国内・諸外国に農産物を輸出・輸入(内貿含む)開始。

●内航コンテナ定期航路 (2024年5月就航)

(2025年4月現在) ※HP調べ

運行会社	船名	総トン数・積載量	航路	便数
運航船社 オリент オーバーシーズ コンテナ ライン リミテッド(OOCL)、井本商運株式会社 船舶代理店 十勝海運株式会社	ひよどり/まいこ	749t 251TEU	京浜(金) → 釧路(月) → 十勝(火) → 京浜(木)	週1便

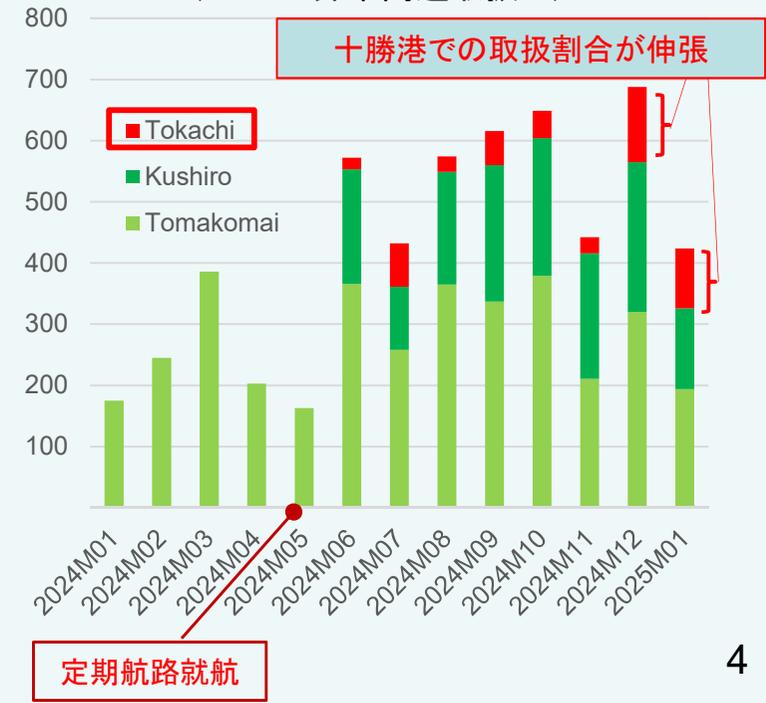
主な品目/輸出入・移出先(2025.4時点実績)

- 輸出: 魚油(マレーシア)、長いも(台湾、米国)
- 輸入: 飼料原料[DDGS](米国、豪州)、牧草(米国、豪州、カナダ)、肥料(ベトナム) 農業用機械(タイ)
- 移出: 魚油(伊万里)、長いも(関東圏)
- 移入: 飼料原料[ふすま](横浜)

- 京浜港で貨物を積み替え、**国内・諸外国の港へ輸送**
- 新たな航路就航により、**輸送ルートの選択肢が拡大**



北海道地域 輸入取り扱い量推移 (OOCL・井本商運取扱い)



十勝港のトピックス② (産直港湾に認定)

- ◆2030年の農林水産物・食品の輸出額を5兆円とする政府目標の達成に向け、農林水産省と連携し生産関係者や港湾関係者が協力して輸出促進の取組を行う「産直港湾」における施設整備への支援等を実施している。
- ◆2025年3月、広尾町が策定した「農林水産物・食品輸出促進計画」が認定され、「産直港湾」となる十勝港において、農水産物輸出促進の拡大に資するコンテナ蔵置のためのリーファーコンテナ(冷凍コンテナ用)電源供給施設等の整備を実施している。(令和7年度末完了予定)



【整備期間】

・令和7年3月27日～令和8年2月27日予定

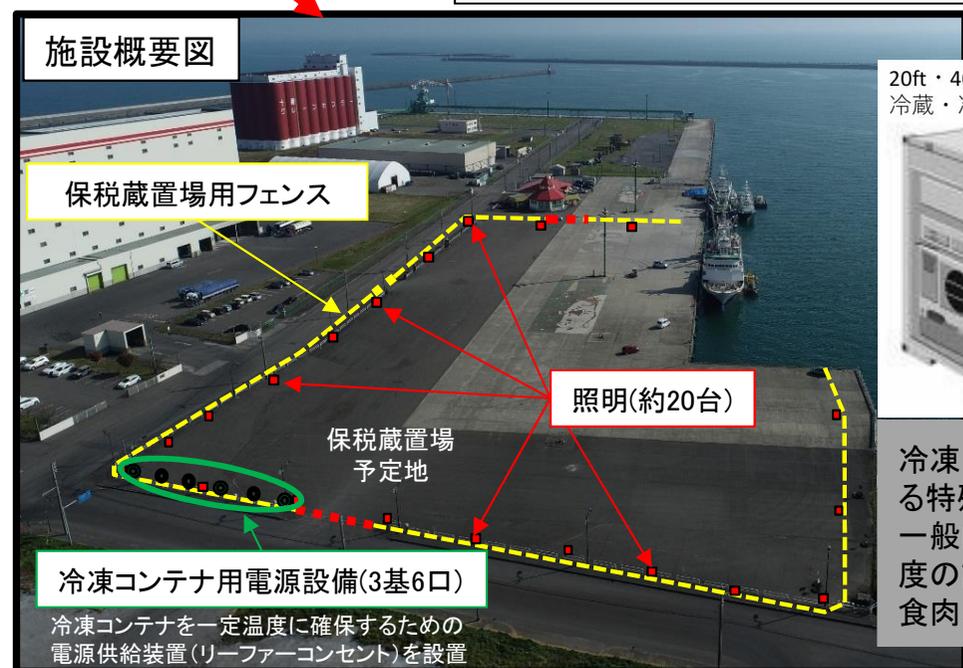
【整備内容】

- ・リーファー電源(3基6口)
- ・フェンス(約500m(ゲート含む))
- ・照明(20基)

【事業費】

・138百万円(うち 国費負担分46百万円)

施設概要図



20ft・40ftリーファーコンテナ
冷蔵・冷凍品用



冷凍コンテナ

冷凍・冷蔵貨物の輸送に使用される特殊コンテナ。
一般的に-30℃までコンテナ内温度の設定が可能。
食肉、生鮮品の定温輸送に活用。

【十勝港】農林水産物・食品輸出促進計画(概要)

■ 主な対象品目

主な品目	産地
長いも、魚油、牛肉、豚肉	十勝

■ ターゲット

北米、台湾、香港、インド 等



■ 目標

十勝港における農林水産物・食品の輸出額
 令和6年 実績額: 3.6億円
 令和15年 目標額: 16.3億円
約4.5倍

十勝港定期航路への期待

■ コンテナ船定期航路の目指す姿

1. 帯広、十勝で生産される新鮮で豊富な農畜産品や農畜産加工品を、日本国内、また海外に発信するための一助になりたい。
2. 帯広川西ICフードテックパークをはじめ、十勝管内で計画される物流拠点構想において、十勝の『海の玄関口』としての役割を果たしたい。
3. 『フードバレーとかちの施策展開～戦略プラン～』の戦略17、“とかちの食を国内外に広める”取組みを進めるための一翼を担いたい。

地理的優位性に恵まれている
十勝港を有効活用し、

貨物の大量一括輸送と
片荷の解消（空コンテナの状態に関東
へ戻している個数が多い）など
を図ることで、

コンテナ輸送費が低減され、
物流コストの削減が
期待される。

ご清聴ありがとうございました

～十勝港の応援をよろしくお願いいたします。～